

哲学堂公園の再整備に関するオープンハウスを開催しました

《日 時》 令和6年3月8日（金）14～16時、3月9日（土）10～12時

《会 場》 哲学堂公園内 宇宙館におけるパネル展示

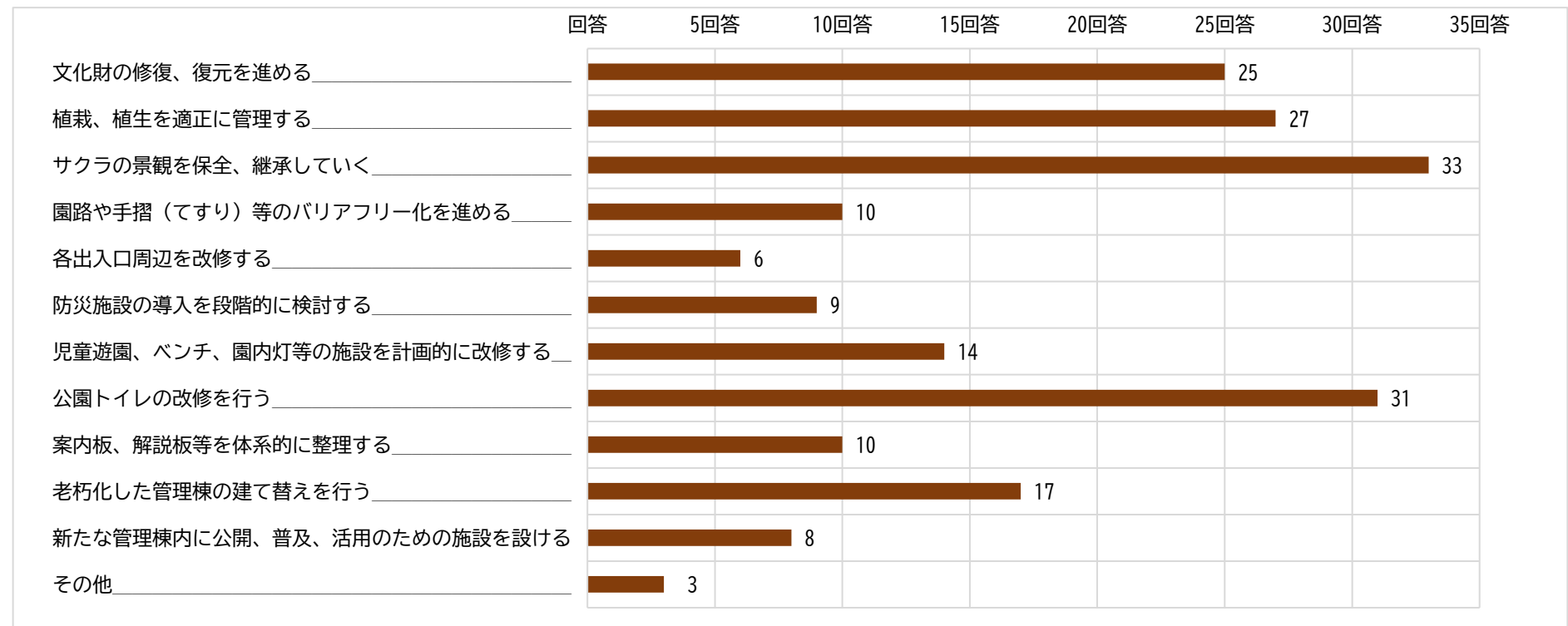
《来場者》 47名

《アンケート回答数》 49回答（webを含む）

《結果の概要》 以下のとおり



1 再整備事業について、良いと感じた内容がありましたか？（複数回答可）



2 1の具体的な内容や理由についてお聞かせください。

《文化財の修復、復元を進める》

文化財と遊び場が共存する素晴らしい公園／歴史を残し自然と調和する唯一無二の場所となる事を願う／他にない歴史や特色を引き継ぎつつ、衛生面や安全面は必要に応じて修復して欲しい／哲学堂の設立背景から、文化財としての価値を正しく伝える取組は必要／施設の老朽化が深刻で石段の崩れが心配。施設の復旧・再構築を先行した方が良い／立派な再整備計画、とても喜ばしく思う／もう少し哲学のテーマパーク的にした方が いい

《植栽、植生を適正に管理する》

老朽化して危ない所は修復し、今のままの自然が多い公園を残して欲しい／今日まで長い歳月を経て醸成されてきた自然豊かな環境、木々を守っていくことに強く賛同。近隣の子供たちが育つ環境として必要不可欠／植栽、自然環境も大きな魅力なので大切にすることがわかった／「生物多様性に配慮する」「豊かな階層の樹林構成を目指す」という方針が入ったこと／木をたくさん切られてしまうのではないかと心配してきたが、一本一本適切に対応してくださり安心した／歴史を残し自然と調和する唯一無二の場所となる事を願う／都会の中でも珍しく緑がたくさんあり、子どもにとって大切な遊び場。木々の管理や遊具を改修し、子ども達にとってよりよい遊び場であってほしい／四季を感じられる豊かな自然は財産／誰でも利用できて、ふらっと立ち寄れる憩いの場であり、都会で貴重な自然豊かな場所を残してほしい／寿命が短いと言われる桜以外の四季の草花にも目を向けて活用すべき／四季を通して生息するたくさんの動植物への配慮もお願いしたい／ヤブというものも少しは残してほしい

《サクラの景観を保全、継承していく》

枯れたサクラが放置されたまま、なんとかしてほしい／桜が美しいと評判の庭園だったが、川沿いの桜は老朽化し、見ていてとても悲しくなる。昔の景観が戻るよう計画的に植樹してほしい／児童遊園のサクラが切られたままなので植え替えてほしい／桜の下が毎年集いの場になっている。これほど桜が多く、広々と落ち着いて過ごせる場所は近隣に少ないので出来るだけ残してほしい／サクラが好きで、サクラの景観を残して欲しい／春はサクラの下で花見を楽しみたいため、保全は必要と感じた

《園路や手摺（てすり）等のバリアフリー化を進める》

過度にバリアフリー化を進めることで、設立時点で考えられた哲学散策のあり方に支障の無い配慮を望む。同時に区内の数少ない自然環境を維持していく事が大切／バリアフリー化を進めるのは良いことだが、松坂城跡では石垣に不釣り合いなコンクリート、ステンレスの手すりがつくられた。デザインの調和はよくよく検討すべき

《防災施設の導入を段階的に検討する》

防災施設の面がとても重要に考えるが、施設の老朽化が深刻で石段の崩れが心配。施設の復旧・再構築を先行した方が良い／防災を考えて大木などの緑も残してほしい／整備とともに地震の時に役に立てる公園になればと思う

《児童遊園、ベンチ、園内灯等の施設を計画的に改修する》

文化財と遊び場が共存する素晴らしい公園／子どもにとって大切な遊び場。木々の管理や遊具を改修し、子ども達にとってよりよい遊び場であってほしい／児童遊園やトイレなど、子育て中は必ず使うものなので、安全に快適に利用できるよう改修希望／児童遊園がとても良い場所なのでより良くして欲しい

《公園トイレの改修を行う》

子どもが使ったりおむつ替えするにはあまりにも不衛生すぎるので、早急に改修してほしい／遊具のところのトイレが暗い／児童遊園やトイレなど、子育て中は必ず使うものなので、安全に快適に利用できるよう改修希望／哲学堂のトイレは薄暗くて少し苦手／手洗い場が使いづらく、蛇口が奥の方なので手を伸ばさないと洗えない

《案内板、解説板等を体系的に整理する》

哲学堂の設立背景から、文化財としての価値を正しく伝える取組は必要／哲学堂のユニークさをもっとアピールできると良い／77場全て視覚的に確認できるようにできれば良い

《老朽化した管理棟の建て替えを行う》

管理棟の建て替えは現地でしてほしい。それ以外の場所で児童遊園を潰したり木を切ったりしないでほしい

《新たな管理棟内に公開、普及、活用のための施設を設ける》

哲学堂の設立背景から、文化財としての価値を正しく伝える取組は必要／哲学堂のユニークさをもっとアピールできると良い／ガイダンス施設は良いが、既存の民俗資料館との連携は必要。近くにあり公園から視認できる水道塔含め、まち全体をまきこんだ活用を期待したい／和田館の伝説について現在説明すらないので、それを調査、解説するらしいのは良いこと

《その他》

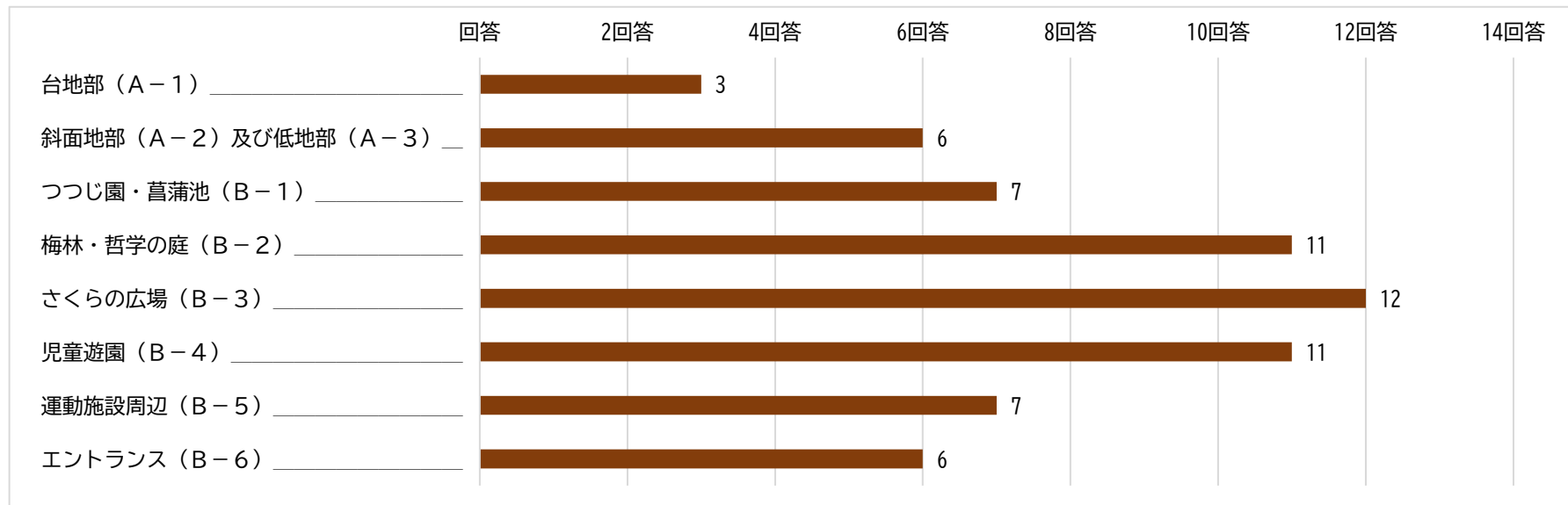
＜整備の必要性＞ 今の形を維持する事業計画に賛同／古い設備などを新しくするのは良い／全体的に老朽化が見えるので、どれも必要なことだと思う／ある程度は老朽化したものは修復の必要がある／国名勝になったのは素晴らしいこと。だからこそ、相応しい空間を創出すべき／古さが居心地の良さだったり学びになったりするので、余計な部分はわざわざ直さなくていいと思う

＜自然の保護・保全＞ 木は間引かず大事に／今ある立派な自然を保全してほしい／見とおしを重視するあまり間引きすぎて、日当たりの良すぎる暑苦しい植生にならないよう気をつけてほしい／長い年月で育まれた木々の伐採は厳に慎んでほしい

＜バリアフリー＞ 地面が凸凹で車いすの方が周遊できないので、できるようになると良い／バリアフリーという言葉はよく聞かれるが、園路を広げると土の面積が減って桜やその他樹木には良くない。通路をゆずりあって歩くような感性が大事

＜その他＞ 地形的にはけがあるので、雨水を浸透させ、傾斜地の保水、植栽の保護、下の池などへの水になるように／新青梅街道側から来ると野球場が目立って史跡があるのかわかりづらいので、弓道場等のデザインでシンボリックに現せないか／管理棟と野球場の門あたりの地面が固くなっている。コンクリートのような物が土に混ぜられたようで、人が歩きやすくなったとしても、桜の樹木や地中の生物など自然の為には良くない

3 整備内容が良いと感じた場所（ゾーン）はありましたか？（複数回答可）



4 3の具体的な内容や理由についてお聞かせください。

《台地部（A-1）》

台地部に文化財が多いので円了博士の後世に伝えたかったことを継承し、自然とともに楽しみつつ学べる場にしてほしい／メインの建物が集まる部分の整備はやはり最重要

《斜面地部（A-2）及び低地部（A-3）》

万象是皆我師であるように生きた植栽をお願いしたい／子どもが安全に自然に触れ合ったり、自然観察出来る／子連れでは不便と感じる道が多く、良くも悪くも自然な姿が濃いので、整備されると不安が少し無くなるのかなと思う／妙正寺川沿いに残る林の雰囲気は今後も適切に維持してほしい

《つつじ園・菖蒲池（B－1）》

つつじ園、菖蒲池エリアは子ども達が昆虫や木の実など自然と触れ合える貴重な場所なので維持に賛同／花園としての地域の荒廃は顕著で修復が必要／斜面がスロープになって歩きやすくなったが、凸凹がありベビーカーなどでは少し歩きにくい

《梅林・哲学の庭（B－2）》

ウメが咲いていてベンチがあり、解放感がある／既に充分手入れがされており、現状維持が望ましい

《さくらの広場（B－3）》

サクラが好きで、サクラの景観を残して欲しい／花園としての地域の荒廃は顕著で修復が必要／広場が凸凹でえぐれている感じがするので、地面も整備してほしい／サクラの植替は大変だと思うが、次の世代につながるように／斜面がスロープになって歩きやすくなったが、凸凹がありベビーカーなどでは少し歩きにくい

《児童遊園（B－4）》

自然は残しつつ、児童遊園近辺や運動施設周辺は整備を希望／藤棚はきちんと修理してほしい／新たな植樹により、緑陰形成を図るところ／現状の広さを保ったまま、もう少し面白みのある遊具もあると良い

《運動施設周辺（B－5）》

自然は残しつつ、児童遊園近辺や運動施設周辺は整備を希望

《エントランス（B－6）》

現状は野球の印象が強いので、哲学っぽさを入れて、きれいにしていただけそう

《その他》

梅林はすでに見通しよく明るいのに大きな木を切る必要はない／ちゃんと樹木のことわかる業者を選定してほしい／さほど手入れが行き届かなくても良く、出来るだけ自然のままに／多様な植生を残してほしい／現状のままで良く、とくに再整備は必要ない／新青梅街道側に名勝としての雰囲気を出すことが重要

5 哲学堂公園の再整備事業についてご意見、ご要望などがあればお聞かせください。

アンケートで得られたご意見、ご要望と、それに対する区の考え方を以下に示します。

《自然（樹木・生きもの等）の保護、保全を求める意見》

主なご意見、ご要望		区の考え方
・ 木を不要にカットせず、温暖化防止のためにも鳥や昆虫、生物のためにも自然は大事にしてほしい。 ・ 今の自然豊かな公園を残し、老朽化して危ない所だけを再整備してほしい。 ・ 自然が見られる地域で唯一の場所なので伐採などせず、子どもの教育のためにも保全してほしい。 ・ 出来るだけ手を加え過ぎず、生きものの多様性を守って保存し、次の世代に繋いでほしい。 ・ 植物や昆虫などが観察できる公園は少ないので、大幅な木の伐採などは避けてほしい。 ・ 無駄に木を切らず、大切な財源をばら撒かないでほしい。 ・ 哲学堂公園は中野の宝であり、長年かけて形成された自然環境を大切に、今の形を極力維持してほしい。 ・ あまり過度な変更はしてほしくない。必要のない建物はもちろん、必要のない伐採には反対。現状維持にお金を使って欲しい。 ・ 樹木や生物が貴重な資源である視点が抜けており、再考を求める。 ・ 保存活用計画の検討委員会で、文化庁の職員が話していた「哲学堂の価値は 100 年かけてでき上がった風致景観です」という言葉の意味を正しく理解して保存活用してほしい。	→	名勝哲学堂公園保存活用計画に基づき、100 年以上をかけて形成された現在の風致景観を保全してまいります。 今回、次の世代に引き継ぐために必要と考える植生・植栽の処置等の方向性をお示しましたが、頂いたご意見を踏まえ、計画内容を一部修正するとともに、令和 6 年度以降の設計において丁寧に検討を進めてまいります。また、今後も地域説明の場を設けながら進めてまいります。
・ 平和の森公園では鬱蒼として暗くて怖いという意見があったと聞いたが、哲学堂は夜閉める公園。時間をかけて形成された樹木とそこに集まる虫や鳥などの自然環境を大切にし、切ることありきではなく活かす方向でしっかりと保全してほしい。 ・ 文化財など大切なものも多いと思うが、斜面や木々が沢山ある今の環境は残してほしい。平和の森公園は綺麗になって使いやすくなったが、木陰が無く真夏は遊べなくなった。哲学堂公園は夏も木々の中に入ると涼しく感じる。今のままの自然と触れ合える姿を残してほしい。	→	植生・管理については、現在の樹林環境や、夜間閉鎖という公園の特色も踏まえ、令和 6 年度以降の設計において丁寧に検討を進めてまいります。

・今の自然は残し、さらに児童遊園の整備をしてほしい。 ・広々と遊べる児童遊園と貴重な生物観察が出来る自然豊かな環境を守ってほしい。 ・子どもたちがふれあえる貴重な自然を保護しつつ、施設などを改修してほしい。	→	名勝哲学堂公園保存活用計画に基づき、現在の地割を保全しつつ、場所ごとの特性を考慮した整備の取組を行ってまいります。
・良い点しか選択肢の無いアンケートは住民とのコミュニケーションではなく、アリバイづくりでしかない。	→	ご指摘を踏まえ、今後の事業において適正な運用を図ってまいります。
・変な箱物を作って現状を刷新するのではなく、あくまでも今の雰囲気や、哲学堂らしさを保った再整備をしてほしい。 ・どこにでもある真新しい公園にせず、創設の原点である井上円了の思想と長年培われてきた自然環境が損なわれないよう、留意してほしい。	→	名勝哲学堂公園保存活用計画に基づき、哲学堂公園の歴史的・文化的価値及び、都市公園としての機能や利用面を考慮し、整備の取組を進めてまいります。
・確かに老朽化している木も目立ち、伐採と植え替えなど世代交代は必要だと思うが、一斉にするのではなく、今ある土壌を壊すことなく段階的にやってほしい。 ・樹木管理について具体的な記述が無いが、老木の危険回避での伐採はやむを得ないにしても、現在の植生がこの地に生息している生物にとって必要な環境であり、急激な変更をすべきでない。 ・景観が一度に変わらないよう段階的に進めてほしい。	→	植栽管理は環境の急激な変化を避けながら、長期的な視点に立って進めていく予定です。今回の再整備（令和16年3月までを目安）における植生・植栽管理の具体的な内容は、令和6年度以降の設計において検討します。
・傾斜地の林床についてはアズマネザサの活用を考えているようだが、他の地域ではどうするのか。林床の地面がむき出しになっており、昆虫や野鳥の生息種数、数量も減少している。樹木の緩やかな遷移と林床植物の再生を願いたい。	→	現在裸地となっている箇所については、林床植物の育成を図る方針としていますが、今回の再整備（令和16年3月までを目安）における具体的な対応内容は、令和6年度以降の設計において検討します。
・日常的な剪定等に関しても、樹木の専門家を活用した繊細な対応をお願いしたい。	→	今後の管理に関しては、指定管理者とも連携のうえ、適切に対応してまいります。
・「生物多様性に配慮する」「豊かな階層の樹林構成を目指す」という言葉が入ったのは素晴らしいが、具体的な計画案の「明るい林にする」「見通しを良くする」「はみ出した樹木は伐採する」などは、慎重な検討と見直しをお願いしたい。鬱蒼とした林や、下草の茂み、積もった落ち葉、老木なども現在以上に大切に、多様な環境を維持してほしい。近隣自治体の生態系回復の試みも、参考になると思う。 ・樹木や植物だけでなく、鳥や昆虫、地中の微生物も含めて「自然」を考えるべきである。	→	都市公園としての安全性や利便性にも配慮しながら、生物多様性に配慮した多様な環境を維持するための視点についても、研究してまいります。

・ 石積など安全面からの修復は必要だと思うが、植物が人工物を侵食する様子は長い年月を経て作られ、自然の力強さ、豊かな自然をアピールできる景観である。単純に危険だから木の根を除去するという考えは、貴重な歴史・自然的資源を台無しにしかねない。	→	石積については、令和6年度に安全性等を確認するための調査を行い、対処の方針を定める予定です。石積沿いの園路は妙正寺川に沿って散策できる遊歩道ともなっており、安全性と風致景観との両立について、慎重に検討してまいります。
・ 園路などに影響を与えるクスノキなどの樹木伐採について、慎重な対応を求めたい。建築物の保存や、安全への配慮はもちろん必要だが、こうした樹木の姿をうまく維持していけば、どんな言葉よりも、この公園の長い歴史と個性が、ひと目で利用者に伝わる。クスノキは、必ずしもこの地域に自生する樹木ではないが、精神修養の場として設けられた公園の個性に合致する性格のものではないか。	→	園路を塞いだり、文化財施設を壊しているクスノキの対処については、これまでの利用者の声を改めて把握するとともに、関係機関等と協議を行い、慎重に検討することと致します。なお、クスノキは、井上玄一氏の時代に苗木を植樹した記録も残っており、不必要に数を減らすという方針ではありません。

《安全に関する意見》

主なご意見、ご要望		区の考え方
・ 以前、風の強い日に児童遊園で子どもと遊んでいたところ、砂場近くの大きな木の太い枝が目前に落ちてきて、危なくぶつかる所だった。安全面の整備をお願いしたい。	→	都市公園としての安全性に配慮し、日常管理を行う指定管理者とも連携のうえ、整備の取組を進めてまいります。
・ 石積など、安全面からの修復は必要。	→	石積については、令和6年度に安全性等を確認するための調査を行い、対処の方針を定める予定です。

《文化財の修復、活用等に関する意見》

主なご意見、ご要望		区の考え方
・ 狸燈や鬼燈等の修復、復元は楽しみだが、天狗像や幽霊像のように、ペンキ塗ったてのようにキレイにするのではなく、年月の経過による魅力を大切にするような配慮があると嬉しい。	→	個々の文化財の修復・復元内容については、頂いたご意見も参考に、関係機関等との議論を経て検討してまいります。
・ 井上円了氏の思想や、同氏が取り上げた人物の選択などもアピールできると良い。とてもユニークで独特な価値があり、たとえば迦毘羅という名はここでしか聞いたことがない。	→	新たな管理棟内に設ける予定としている「公開・普及・活用のための施設」において、哲学堂公園の歴史や成り立ち、変遷などの解説について検討してまいります。
・ 元々の設計思想等を参考に眺望点を明確にし、そこではある程度植栽保護より眺望を優先するのも良いかもしれない。	→	たとえば七十七場の1つである「意識駅」において、妙正寺川への眺望を復元するとしています。具体的な内容については、樹林環境への影響等も考慮し、令和6年度以降の設計において検討します。

《案内・解説板等に関する意見》

主なご意見、ご要望		区の考え方
・ 哲学の庭に行くまでの案内板をもっと分かりやすくしてほしい。	→	公園の案内・解説板については体系的に整理し、よりわかりやすい表記を検討してまいります。
主なご意見、ご要望		区の考え方
・ インターネット等で見られるマップに駐車場が書いていない。川沿いの低地部に駐輪場があるのかどうか、分かりづらい。 ・ 自転車だと坂を登るのに覚悟があるので、坂の下（妙正寺川沿い）にも駐輪場が欲しい。	→	駐車場については、以下の指定管理者ＨＰに掲載されています。川沿いの駐輪スペースに関しては、現地掲示により案内していますが、よりわかりやすい表記を検討してまいります。 https://www.tetsugakudo.jp/access.html

《体制や協力関係に関する意見》

主なご意見、ご要望		区の考え方
・ 支援団体などが増えるとよい。	→	今後の運営体制等の検討において参考とさせていただきます。
・ 東洋大学とのコラボレーションは積極的に行ってほしい。	→	東洋大学との連携は、今後も継続してまいります。

《区民への意見聴取に関する意見》

主なご意見、ご要望		区の考え方
・ このように区民の声を聴こうとする区政の在り方に感謝している。 ・ 哲学堂公園の利用者にはそれぞれの強い思いを持った人が多い。引き続き情報の共有と、丁寧な意見交換が必要だと思う。 ・ 丁寧な説明ありがとうございます。今後とも情報共有を頂きながら進めてもらえると嬉しい。	→	今後も地域説明の場を設けながら進めてまいります。
・ 児童遊園に妖怪のオブジェを置くなど、子ども楽しめるような意見聴取の場も設けてほしい。 ・ オープンハウスの開催が２日間２時間ずつというのは、少ない気がする。	→	効果的な意見聴取の方法について、今後研究してまいります。

《その他》

主なご意見、ご要望		区の考え方
・ 哲学はこれから更に必要とされるもの。未来の中野区と子どもたちのために残せるものをお願いしたい。 ・ 今の良さを生かして上手に再整備をしてほしい。 ・ 期待しています。	→	名勝哲学堂公園保存活用計画に基づき、哲学堂公園の歴史的・文化的価値及び、都市公園としての機能や利用面を考慮し、整備の取組を進めてまいります。
・ 近隣の公園や施設を回遊できるアイデアも取り入れてほしい。	→	今後の活用検討において参考とさせていただきます。
・ 古いものを大切にすることこそ SDGS であり、子どもたちに伝えたいこと。少しの不便さも、足腰を鍛える。	→	哲学堂公園の歴史的・文化的価値を考慮し、整備の取組を進めてまいります。
・ 池の水が汚いので改善してほしい。 ・ 流れが湧水なのか水道水なのか、利用者向けに明記してほしい。	→	令和 6 年度、緊急対策工事として循環設備の修繕を行い、経過観察を進めてまいります。流れの水は、現在は井戸水を使用し循環させていますが、かつては湧水でした。今後のサイン等の検討において、参考とさせていただきます。

ご来場、アンケートへの御協力ありがとうございました

皆様から頂いたご意見を参考に、今後の再整備を進めてまいります。
なお、以下の点については、計画段階での整理が必要と考え、修正を行いました。

項 目		修 正 前		修 正 後
植生・植栽管理	クスノキ	成長が早く巨木化するため、根が園路や文化財施設を壊しているものや、林内の日照を極端に遮るものは選択的に伐採し、後継として自然植生のシラカシを育てていく。	→	成長が早く巨木化するため、根が園路や文化財施設を壊しているもの、林内の日照を極端に遮るものなどについては、自然植生のシラカシに置き換えていくことも視野に、 <u>長期的な視点に立って対処を検討する。</u>
植生・植栽管理	斜面林（さくらの広場の上部）における将来目標とする植生	高木層は常緑広葉樹を中心とした安定した樹林への遷移を見守っていき、園路周辺においては、見通しの確保に努める。	→	高木層は常緑広葉樹を中心とした安定した樹林への遷移を見守っていき、園路周辺においては、 <u>適度な見通しの確保に努める。</u>
植生・植栽管理	斜面林（唯物園～経験坂周辺）における将来目標とする植生	明るい常落混交林として林床植生の育成を図るとともに、園路周辺に見通しを確保する。	→	<u>多様な環境を有する常落混交林とし、所々光を入れるなどして</u> 林床植生の育成を図るとともに、園路周辺に <u>適度な見通しを確保する。</u>
植生・植栽管理	斜面林（唯心庭～論理域周辺）における将来目標とする植生	落葉樹主体の明るい樹林として維持し、心字池周辺に季節を感じられる景観を形成・維持していく。	→	<u>多様な環境を有する落葉樹主体の樹林として維持し、心字池周辺には季節を感じられる景観を形成・維持していく。</u>
利用動線の整備	バリアフリー	（前略）…バリアフリールートを確保するよう努める。	→	<u>「※文化財の保全や、園内の自然環境等との両立を図りながら取り組む。」を追加する。</u>

※上記のほか、スケジュールや工区分けの精査、関係機関等との調整を踏まえた文言修正等を行っています。

中野区 都市基盤部 公園課 公園整備係（区役所8階 8番窓口）

【電話】03-3228-5553

【メール】koenseibi@city.tokyo-nakano.lg.jp